

## 横浜市は東京2020大会に向けた様々な取組を 市立学校で展開中！【11月後半版】

横浜市では、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の一環として、市立学校へオリンピック・パラリンピアンを招へいし講演や実技指導を行っていただき、スポーツ振興を図るなど、次世代を担う子どもたちへのレガシーを遺すための取組を行っています。

11月後半は、パラアスリートによる講演のほか、市立小学校へのオリンピック・パラリンピアンによる学校訪問を実施しますので、ぜひ取材をお願いします。

### 1 パラリンピック競技について知る、体験する、考える取組をオリパラ教育推進校で展開しています！

市民局ではオリパラ教育に通年で取り組んでいる「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育推進校※」に対し、今年度より、パラリンピック競技について知る、体験する、考えるきっかけとなるメニューを作成し、希望に応じて提供しています。

#### ※「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育推進校」

スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の取組を行う市立学校で、令和元年度は30の小・中・高校・特別支援校が選定されています。

#### プログラム及びスケジュール

##### ■パラアスリートと競技を支える人による講演及び体験

ブラインドマラソン選手と伴走者の方をお招きし、講演と伴走者体験を行います。

**日時** 11月29日（金）14:30～15:20 **場所** 市場中学校（鶴見区市場下町1-1）

#### 【講師紹介】

**青木 洋子氏**（所属：NTTクラリティ株式会社）

宮城県出身の陸上選手（ブラインドマラソン）。

知人に誘われたことがきっかけで、ブラインドマラソンを始める。

現在は、東京2020パラリンピック出場をめざし、競技を行っている。

**浮津 康宏氏**

2010年の初フルマラソン完走以降、マラソンや100kmマラソンに没頭している。青木選手のレースやスピード練習、距離走などの伴走を務める。



青木 洋子氏



浮津 康宏氏

#### 東京2020大会パートナーとも連携中！

市場中学校水泳部は2019ジャパンパラ水泳競技大会（9/21～23 横浜国際プールにて開催）での試合観戦やNTTグループ所属の出場選手との交流を通じて、パラスポーツの素晴らしさを生で体験しました。今回はパラスポーツ観戦の振り返り学習を兼ねて、全校生徒対象の講演及び体験を実施します。

ジャパンパラ水泳観戦の様子↓



横浜市では、今後も次世代を担う子どもたちへのパラリンピック競技普及啓発など、共生社会の実現に向けた取組を行っていきます。

## 2 横浜市立小・中学校にオリンピック・パラリンピアンがやって来る！

### 1 11月後半の訪問日程 ※講師の略歴については裏面「参考資料」をご覧ください。

<小学校>

	日時	場所	講師
1	11月29日(金)	もえぎ野小学校 (青葉区もえぎ野16)	青戸 慎司氏(オリンピック)

※午前中の実施を予定しておりますが、詳細の時間については、下記お問い合わせまでご確認ください。

<中学校>

	日時	場所	講師
1	11月22日(金)	大網中学校 (港北区大倉山3-40-1)	天摩 由貴氏(パラリンピアン)
2	11月22日(金)	原中学校 (瀬谷区阿久和西2-1-6)	三阪 洋行氏(パラリンピアン)
3	11月23日(土・祝)	山内中学校 (青葉区美しが丘5-4)	小磯 典子氏(オリンピック)
4	11月26日(火)	西本郷中学校 (栄区小菅ヶ谷1-29-1)	市橋 有里氏(オリンピック)
5	11月26日(火)	中田中学校 (泉区中田北2-20-1)	高田 千明氏(パラリンピアン)

※おおむね午後を予定しておりますが、詳細の時間については、下記お問い合わせまでご確認ください。

### 2 内容




オリンピック・パラリンピアンによる授業や講演、実技指導等を行います。

### 3 今後の予定

12月以降も実施します。詳細はあらためて記者発表します。

#### 【取材について】

各実施日の前日までにお問合せ先までご連絡ください。

	東京2020大会横浜市ウェブサイト/ 横浜市東京2020情報(市民局)ツイッター @tokyo2020_ykham にて情報発信中!	 ウェブサイト 二次元バーコード	 @Tokyo2020_ykham Follow US!
--	--	---	---

#### お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585

別紙あり

## 参考資料<講師略歴>

### 天摩 由貴 (てんま ゆき) / ゴールボール



1990年青森県生まれ。先天性の視覚障害（網膜色素変性症）があり、現在の見え方は両目共に光を感じる程度。2014年からゴールボール競技を始め、リオデジャネイロ2016パラリンピックに日本代表として出場、5位入賞。東京2020パラリンピックを目指しており、2017年4月からは全日本女子チームの主将を務めている。

### 三阪 洋行 (みさか ひろゆき) / 車いすラグビー



1981年大阪府出身。高校生の時にラグビー練習中の事故で頸椎を損傷し、車椅子生活となる。8カ月間の入院生活の後に車いすラグビーと出会い、わずか4年後には最年少で日本代表に選出された。

アテネ2004パラリンピック、北京2008パラリンピック、ロンドン2012パラリンピックと3大会連続でパラリンピックに出場。引退後は日本代表のアシスタントコーチとしてリオデジャネイロ2016パラリンピックに参加。日本初となる銅メダル獲得に貢献した。

### 小磯 典子 (こいそ のりこ) / バスケットボール



1974年長崎県長崎市出身。鶴鳴女子高校（現長崎女子高校）にて全国大会で活躍し、卒業後、ジャパンエナジーに入社。アトランタ1996オリンピック出場（7位入賞）。3度の世界選手権を経験。バンコクアジア大会金メダル。2004年のアテネオリンピックを最後に一度は現役を引退したが、翌2005年にはアイシン・エイ・ダブリュウイングスに移籍し、選手兼コーチとして現役復帰。2012年より母校である長崎女子高校の職員として後輩の指導に当たる。現在は埼玉県にてバスケットボール教室を開く傍ら、千葉ジェッツバスケットボールアカデミーコーチを務める。

### 市橋 有里 (いちはし あり) / 陸上



徳島県鳴門市出身の元陸上（マラソン）選手。「トップレベルの長距離ランナー育成」を目的に誕生した陸連直轄のランニングクラブで、本格的トレーニングを開始。1999年、世界選手権セビリア大会で銀メダルを獲得。世界大会のマラソン種目では、史上最年少のメダリストとなった。

シドニー2000オリンピック出場。東京マラソン2007で現役を引退。

### 青戸 慎司 (あおと しんじ) / 陸上



100mの元日本記録保持者。ソウル、バルセロナ両オリンピックに陸上短距離代表として出場し、4×100リレーでは60年ぶりに6位入賞を果たした。

1998年にはその脚力を生かし、長野冬季五輪のボブスレー代表にも選ばれ、日本人男子初の夏冬オリンピック出場選手となった。現在、中京大学陸上競技部監督、中京大学スポーツ科学部非常勤講師、公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ、公益財団法人日本陸上競技連盟強化委員などを務める。

### 高田 千明 (たかだ ちあき) / 陸上



1984年東京都出身の陸上（走幅跳・短距離）。先天性の弱視ながら、幼いころから走るのが好きで陸上の選手として健常者の大会にも出場。徐々に視力が低下し、高校3年生で全盲に。その後21歳で視覚障害者陸上競技を本格的に始める。リオデジャネイロ2016パラリンピックでは自身の持つ記録を更新して8位入賞。2017年7月に開催された世界パラ陸上ロンドン大会では、日本新記録で銀メダルを獲得した。